



第2号

【藤 蔭】

大正7年設立の校友会の名前です。藤原鎌足が蘇我氏打倒を藤花の木陰で同志と謀った伝承から、悪を戒め善を責めて互いに練磨修養するという意味です。



「新年度に思うこと」

同窓会会長 滝井 眞智子

新緑が目にあざやかな季節となりました。

「新型コロナウイルス」も、季節性インフルエンザと同じ「五類」へ移行し、これからは個人の判断に委ねられることとなりました。

同窓会の皆様にも中々お会いする機会がありませんでしたが、今年からは各期委員会や総会も、少しずつ形を変えて行っていくと思います。

また、学校のご協力を得て同窓会のホームページをさらに充実したものにし、西高同窓会を多くの会員に理解していただけたらと思っております。

会員の皆様が気付かれたこと、ホームページで紹介したことなどがありませんでしたら、是非西高事務室までご連絡いただくとありがたいです。

令和4年度

「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」に係る文部科学大臣表彰



令和4年度「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」に係る文部科学大臣表彰
第七十五回優良公民館表彰
表彰式



同窓会の皆さまへ

校長 竹村 祐



同窓会の皆さまにおかれましては、日頃より、本校の教育活動に対し、物心両面にて、御協力いただき深く感謝いたします。

本年度、伝統ある藤枝西高等学校長として着任した竹村祐（たけむらゆたか）です。現在本校は、各学年四クラス、全校生徒四百八十四人が在籍しております。

令和五年二月に、学校運営の改善・強化及び学校を核とした地域づくりに貢献をしたことが認められ、文部科学大臣から表彰を受けました。評価された活動は、生徒が、おもに西益津地区の子供たちの学ぶ気持ちを育むことのお手伝いをさせていた

だっている学習活動の取組みです。その他に、地域と協働した教育活動として、西高前道路の花の管理を行う『花いっぱいプロジェクト』や、スポーツの持つ力を活用して、自由に体を動かすダンスの『ズンバ』を地域の方に御指導いただきながら行っています。

先日、これらの活動に関する校内説明会を実施したところ、百人以上の生徒達が興味・関心を示し、地域との関わりや、新たなことにチャレンジしようという心意気を感じて、大変心強く感じました。

さて今年の入学式では、新入生に、本校の歴史を認識してもらうとともに、窮屈な時代であるからこそ、人を思いやる気持ちを大切にしながら、他者の良い所を見ていく努力をしていきましょう、という『美点凝視』の話をしました。本校校訓である『自律 敬愛』の精神を基本に、西高生活を充実させてほしいと願っています。

予測困難な時代に、青春時代を歩む高校生たちの活動に対し、引き続き温かい目でお力添えください。

よりしくお願いいたします。

同窓会総会が無事終了

令和4年6月12日(日)10時より 藤枝市生涯学習センター1階ホールに於いて「令和4年度同窓会総会」が開かれました。総会終了後は、記念コンサートとして、西高卒業生で、箏曲演奏家・金子昇馬さん(第98回卒業生)に曲を披露していただきました。

当日参加された西高生にも好評で感動のコンサートとなりました。



「藤枝高女 今昔の感」



第25回卒

増田かづ子

田中城南に聳える最新式の校舎。そこに学ぶ健やかな男女の学生。地域に、世界に目をむけてとび立つ若者たち。――それらを想像すると八十年近い昔の私達の学校生活は化石のように思え、隔世の感がある。しかし私達にとっては大切な体験であった。

昭和十九年三月卒業、太平洋戦争の最中であつた。二年生の十二月講堂の冷たい床に正座して開戦の詔勅をきく。「勝った。勝った。」の大本営発表。やがてアッツ島玉砕、ガダルカナル撤退、戦艦の撃沈等と制海権、制空権を奪われ、本土上空へB29爆撃機P50戦闘機が大挙してやってきた。沼津、静岡、浜松も焼野原となり、藤枝へも残った爆弾を無作為に落とされ、町役場前(現シルバー人材センター)鬼岩寺前で何人かが亡くなられた。空襲警報はサイレンが十回上がったたり下がったりして知らせるのだが、あの不気味な音は二度と聞きたくない。

学校では三年の時英語の授業がなくなり、スカート廃止「もんぺ」となった。勤労働員が増え農作業の手伝い、託児所、暗渠排水、紡績工場へも行った。不慣れな私達の仕事は受ける側も困惑されたことだろうと今にして思う。それでも私達は自宅から通い、正規の授業もあり卒業式も学校で行われたが、一年下の学年の方は沼津海軍工廠へ学徒動員され、もっと苦勞なさつたとき。食料は輸入が絶え石油、ゴム、砂糖、木綿が姿を消し、米は配給制となった。そんな中でもまだ勝つと信じていたのは、小学校以来皇国思想を叩きこまれた結果ではないかと思う。つくづく教育の在り方の大切さを思った。

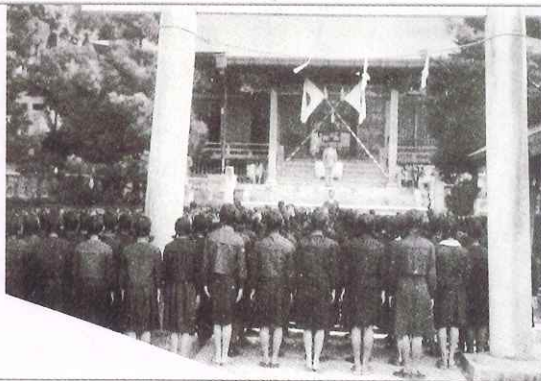
あの頃のこころ
蓮華寺池物語
私たちの青春

第25回

昭和19年
(1944年)

「学校の防空壕をほる。寒稽古は蓮華寺池一周。太田、中村先生が頭丸坊主になってこられた。先生方は教練を受けられる為にその日の授業は休みとなった。」(昭和19年の日誌より)

●社会背景● 日本軍がインパール作戦を実施。連合軍がノルマンディー上陸作戦を実施。東条内閣が総辞職。レイテ沖海戦で日本の連合艦隊壊滅。学徒勤労働員を法制化。学童疎開始まる。



総波神社参拝

●授業の思い出●

- 校長の数学の授業は印象に残り、以来数学が好きになりました。
- 先生が嫌いで授業をボイコットして朝礼で教頭先生に叱られた。
- 大好きな英語の授業が、3年から敵国語でなくなりました。

●行事の思い出●

- 修学旅行がなくなり、代りに富士道場で宿泊訓練があり、「国体の本義」の書写などをした。
- 静岡往復の十里遠足や、砂袋を背負って吉永まで歩かされた。
- 寒稽古で素足で蓮華寺池一周。

●部活動・諸活動の思い出●

- 水泳部で厳しく指導された。
- 絵画部での活動が楽しかった。
- 勤勞奉仕で農家に出かけたり、島田の工場へ落下傘の絹を紡ぎに行った。勝つためと思い、不服を言う人はいませんでした。

●ほめられたこと・叱られたこと●

- お掃除がすみずみまで廊下に行くとほめられた。廊下を光らせるために糠袋を用意した。
- 少しのことでもおかしくて、クックと笑ってばかりで止まらず、叱られてばかりいました。

●名物先生●

- 渡辺みち先生…ミンチン女史というあだ名の洋裁の先生。
- 柳田辰夫先生…野性的な農業の先生。
- 萩原保一先生…実験が成功すると鼻をひくひく。ピクリン。

●憧れの先生●

- 長田邦子先生…生徒と一緒にスポーツをした若い女教師。
- 後藤さやか先生…美しい声に聞きほれました。
- 高野政子先生…優しい人格者。照宮の教育係となり転勤。

●制服の思い出●

- 3年からもんぺになったが、スカートのほうが暖かくて驚いた。
- 冬は白線のないセーラー服、夏は白に黒い襟、白線二本のセーラー服。物不足で譲ってもらえる知人のある人が羨ましかった。

●印象に残る映画●

- 『民族の祭典』『美の祭典』『海軍』『愛染かつら』『運命の饗宴』『暖流』

●よく聞いたラジオ●

- 『大本営発表』『軍管区情報』『戦争歌謡』『軍艦マーチ』

●印象に残る雑誌・本●

- 『少女倶楽部』『少女の友』『冒険ダン吉』『のらくろ』『こころ』『海軍』『夾竹桃の花咲けば』『路傍の石』『次郎物語』『智恵子抄』

●世間で流行していたこと●

- 「欲しがらねえ、勝つまでは」「ぜいたくは敵」軍歌

●憧れの有名人●

- 小唄勝太郎 市丸 美ち奴 霧島昇 田端義夫 双葉山 渡辺はま子 高峰三枝子 「海軍兵学校の生徒」(短剣をつり姿勢正しい)姿に見とれました。

◆住所等変更になった場合◆

「藤枝西高HPの同窓会ページ」により同窓会事務局まで連絡をお願いします。

藤枝西高
ホームページは
こちら



【同窓会事務局】

〒426-0021 藤枝市城南2丁目4-6
静岡県立藤枝西高等学校
同窓会事務局(藤枝西高校内)
電話 (054) 641-0207
ファックス (054) 641-0840